

令和5年度 甲府市社会福祉審議会

第3回全体会

議 事 録

甲府市福祉保健部総務課

令和5年度 甲府市社会福祉審議会第3回全体会

開催日時：令和5年11月7日（火） 14時00分～15時30分

場 所：甲府市役所本庁舎 4階 大会議室

出席委員：丸山正次委員長、外川伸一委員、山田文夫委員、柄沢眞委員、
潮かち子委員、加藤真紀子委員、古屋知子委員、小田切利幸委員、
越水眞澄委員、神吉まゆみ委員、深沢健吾委員

欠席委員：佐藤一男委員、茅野昭勇委員、星野和實委員、志田昌子委員、岡村昌典委員

担 当 課：【福祉保健部】

八巻福祉保健部長、山村保健衛生監、望月福祉保健総室長、渡辺保険経営室長、
千田健康支援室長、樋口保健衛生室長

田中障がい福祉課長、藤本介護保険課長、神宮寺健康保険課長、
川又健康政策課長、三枝医療介護連携担当課長、渡辺地域保健課長、
山本母子健康課長

【子ども未来部】

小山田子育て支援課長、田野口子ども保育課長

【甲府市社会福祉協議会】

中澤地域福祉推進課長、向山ボランティア振興課長

事 務 局：窪田福祉保健部総務課長、神田課長補佐、保坂係長、蔦木作業主任

傍 聴：1名

【第2回全体会】

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 報告
- 4 議事
 - (1) 策定背景と次期計画の基本理念（案）について
 - (2) 第5次健やかいきいき甲府プランにおける各計画の概要
 - (3) その他
- 5 閉会

○資料

- (1) 資料-1 本市の福祉を取り巻く現状と推移
- (2) 資料-2 社会的背景と近年の動向
- (3) 資料-3 第5次健やかいきいき甲府プラン基本理念（案）の構成
- (4) 資料-4 第5次健やかいきいき甲府プランにおける各計画の概要（骨子）
- (5) 資料-5 審議会経過報告
- (6) 当日資料-4-2 骨子変更箇所理由

◆会議の内容◆

1 開会

2 委員長あいさつ（要旨）

「ともに生きる」ことを実感できるような社会にしていくことが甲府市社会福祉審議会の重要な使命だと認識している。その点を意識しながらこれからの甲府市の在るべき姿について考えていきたい。

3 報告

事務局より、甲府市社会福祉審議会の経過報告を行った。質疑なし。

4 議事

（1）策定背景と次期計画の基本理念（案）について

【委員】

資料-1 p.1 の「超高齢化社会」という記載について、「超高齢社会」が正しい記載ではないか。また、資料-1 p.3 の「社会保障費の費用」という記載について、意味が重複している。「社会保障費」が正しい記載ではないか。また、資料-1 について、元号を跨ぐ際は、西暦の方が分かりやすいため、西暦と和暦をどちらも記載してもらいたい。また、ヤングケアラーや SDGs などの難しい用語については、用語集などで分かりやすく説明してもらいたい。さらに、資料-1 p.6 (6) 合計特殊出生率の推移について、人口の増減に関して用いられる概念であるため、人口置換水準をグラフ内に記載し、人口置換水準と合計特殊出生率を比較する形でグラフを示すと分かりやすいと想定している。

【総務課】

「超高齢社会」と「社会保障費」については、記載を修正する。また、年度については西暦と和暦を併記し、難しい用語については計画書本編内でまとめて、誰が見ても分かりやすい表記にすることを想定している。合計特殊出生率については、人口置換水準の根拠となるデータを確認し、記載できるデータがあれば記載していきたい。

【委員】

人口置換水準については、合計特殊出生率のグラフ内の 2.06 か 2.07 の値に横線を入れて、比較できるグラフにすることが望ましいという趣旨の意見である。

【委員】

資料-1 p.5 に記載の「総世帯数の推移と一世帯当たりの平均人員」と p.13 に記載の「高齢者単身世帯数、高齢夫婦世帯数の推移」の関係性について明確にってもらいたい。特に、「1人」及び「2人」の世帯構成のうち、どの程度の割合が高齢者が占めているのかについて明らかにしてもらいたい。また、高齢化が急速に進行しているが、高齢者単身世帯数についても急速に増加しているのか、把握していたら教えてもらいたい。

【総務課】

「総世帯数の推移と一世帯当たりの平均人員」と「高齢者単身世帯数、高齢夫婦世帯数の推移」では出典元が異なるため、整合性が取れるようであれば、関係性を分かりやすく示したい。

(2) 第5次健やかいきいき甲府プランにおける各計画の概要

【委員】

資料-4p.3 に記載の保健計画について、施策 1 事業 10「産前産後ママケア事業」と施策 1 事業 14「産後ケア事業（宿泊型・日帰り型・訪問型）」の関係について教えてもらいたい。一体的な事業に感じるが、事業が分かれている理由は何か。

【母子保健課】

事業 10「産前産後ママケア事業」は、母親の相談支援と、母乳相談に関する事業である。事業 14「産後ケア事業（宿泊型・日帰り型・訪問型）」の宿泊型と日帰り型については、産前産後ケアセンターという施設に母子で訪れ、宿泊や日帰りで母体のケアや相談・休息ができる事業である。訪問型については、助産師が自宅に訪問し、母体のケアや育児指導などを行う事業である。

【委員】

事業 14「産後ケア事業（宿泊型・日帰り型・訪問型）」について、新規事業となっているが、すでに実施している事業だと認識している。現行計画に記載していなかったが次期計画に記載するため新規事業としているのか。

【母子保健課】

訪問型については、昨年度に始めた事業であるため、現行計画に記載がない。そのため、新規事業としている。

【委員】

資料-4p.3～6に記載の保健計画について、「こころの健康相談」事業が複数記載されているが、同一事業という認識で良いか。

【健康政策課】

その認識で良い。ライフステージごとに事業を記載しているため、再掲として同一事業を記載している。

【委員】

資料-4p.11 に記載の高齢者いきいき甲府プランについて、施策 3 事業 3「地域の話し合いの場（第2層協議体）の設立及び運営の支援」、事業 7「地域ケア会議の開催」、事業 8「高齢者支援地域推進会議」の3事業は、地域活動を行う同じ人が関わっている想定だが、事業をまとめることはできないのか。

【委員長】

同じ人が参加する複数の会議体があることで、不都合ではないのか、という意見と理解した。

【健康政策課】

事業 3「地域の話し合いの場（第2層協議体）の設立及び運営の支援」については、地域が抱えている課題を解決するための、地域が主体となった団体を支援する事業である。

【地域保健課】

事業 7「地域ケア会議の開催」については、個別事例においてケース検討を行う事業で

ある。また、事業8「高齢者支援地域推進会議」は地域ケア会議を起点として、地域単位・地区単位でのケア会議を行う事業である。3事業とも事業の特色が異なるため、事業を分けている。

【委員】

事業の役割が異なることは認識しているが、実態として同じ人が関わっていると感じているため、実行性の高い方法について検討してもらいたい。

【委員長】

計画を実行していくうえで、どのように対応するか、特に地域の会議体を1回でまとめて実施できないか、という意見として承った。

【委員】

資料-4p.12に記載の高齢者いきいき甲府プランについて、施策6事業5「福祉避難所開設事業の提携」は、重要な事業だと認識している。同様の事業をp.10に記載の障がい者福祉計画の施策4「地域におけるセーフティネットの構築」にも含めるべきだと感じているが、いかがか。

【障がい福祉課】

資料-4に記載している障がい者福祉計画の事業は、現行計画の事業を記載している。福祉避難所については、障がい者福祉計画の計画部会でも重要な課題であると意見を頂いているため、頂いた意見を踏まえて次期計画の事業について検討していきたい。

【委員】

資料-2p.2~p.3「Ⅱ社会的な背景」に記載のあるヤングケアラーや総合相談支援の体制整備などについて、計画にどのように反映されるのか分からない。総合相談支援の体制整備については、資料-4p.11に記載の高齢者いきいき甲府プランの施策3事業5「総合相談支援」と記載はあるが、他計画にも同様の事業を含めなくてよいのか。

【総務課】

ヤングケアラーについては、「子ども・子育て支援計画」に主として含まれる想定である。なお、「子ども・子育て支援計画」は、健やかいきいき甲府プランの一部であるが、次年度に次期計画の策定を行う予定である。SDGsについては、計画において、目標達成にむけて取り組むことを示していく。また、総合相談支援については、既に高齢者支援の担当課に総合相談窓口があり、介護や高齢者、障がい者、生活保護などの福祉全般に関する相談を受け付けることができる事業となっている。

【委員】

すでに総合相談支援に関する事業を実施している旨、理解した。

【委員長】

事業の実態として、福祉全般に関する相談を受け付けることができても、特定の部署に窓口が設置されていると、利用者が特定の相談内容に限られると誤った認識をする場合もある。そのような点も含めて検討いただきたい。

【委員】

総合相談窓口について、福祉全般に関する相談を受け付けることができるのであれば、「総合相談支援」事業を高齢者いきいき甲府プランのみに記載するのではなく、すべての計画に「再掲」として記載するのも一案である。

(3) その他

第4回全体会は、2/21（水）14時から開催する。

5 閉会